



神戸労災病院 消化器内科

良質で心のこもった医療を働く人と地域のために

研修内容

病院の特色など

神戸労災病院は新神戸駅の東1kmの閑静な住宅街に位置する、病床数360床の総合病院です。労働者安全機構の一員として、地域医療はもちろん、勤労者医療にも力を入れています。救急診療に関しましては、他の内科(総合内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科)と業務を折半しており、週2日程度の救急外来を担当しています。救急症例カンファレンスや内科系合同カンファレンスなどで症例検討を行っており、消化器系以外の疾患に関しても経験が積めるようにしています。

診療科の特色など

消化器内科は48床を担当しており、現在13名の医師が在籍しています。当科の年間入院数は約2000例前後、その6割が緊急入院であり地域の中核医療機関となっています。

2015年に内視鏡システムが一新され、現在はオリンパスの最新内視鏡システムが5光源で稼働しております。近年は特に設備の充実に力を入れており、カプセル内視鏡やシングルバルーン内視鏡、超音波内視鏡などの検査ができるようになりました。さらに2022年度には経口胆道鏡(SpyGlass™DS)を導入し、電気水圧衝撃波胆管結石破砕装置(Electrohydraulic Lithotripsy: EHL)による巨大総胆管結石の治療も可能となりました。300床クラスの病院としては有数と自負しております。

専攻医の声

常に指導医の先生が自分に足りない知識・誤った知識を教えてくださいるのはもちろん、見落としがちな診療の場面にもすぐに気づき教えていただけます。若手の先生からベテランの先生まで各世代の先生がいるので、仕事面もプライベート面もいつでも相談ができる環境です。スタッフ、コメディカル共に仲が良く、日々楽しく、時には厳しく仕事が行えます。また機材類も各種そろっており、早くから色々な手技に触れさせていただけます。専攻医としてのスタートをきるにも、ある程度成長してからでも、充実した研修が行える環境です。

(専攻医1年目 田村 江理奈 先生)

2024年度実績

EGD 件数	4187件
止血術	77件
EMR	8件
ESD	47件
CS 件数	2209例
止血術	91件
EMR/ポリペクトミー	855件
ESD	26件
ERCP 件数	203件
EUS 件数	111件
SBE 件数	9件
CE 件数	20件
RFA 件数	6件

メッセージ

上級医から

「See one, Do one, Teach one」の言葉のように、見て覚えて、やって覚えて、教えることでさらに自分自身も理解を深めていく。そのような互いに学び、切磋琢磨できる研修環境が 神戸労災病院 消化器内科には根付いています。専攻医1年目(医師3年目)で上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査に加え、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)も積極的に指導しています。温かい雰囲気の中、指導医も多く、女性医師も複数名勤務しています。

(第3部長 的場 是篤 先生)